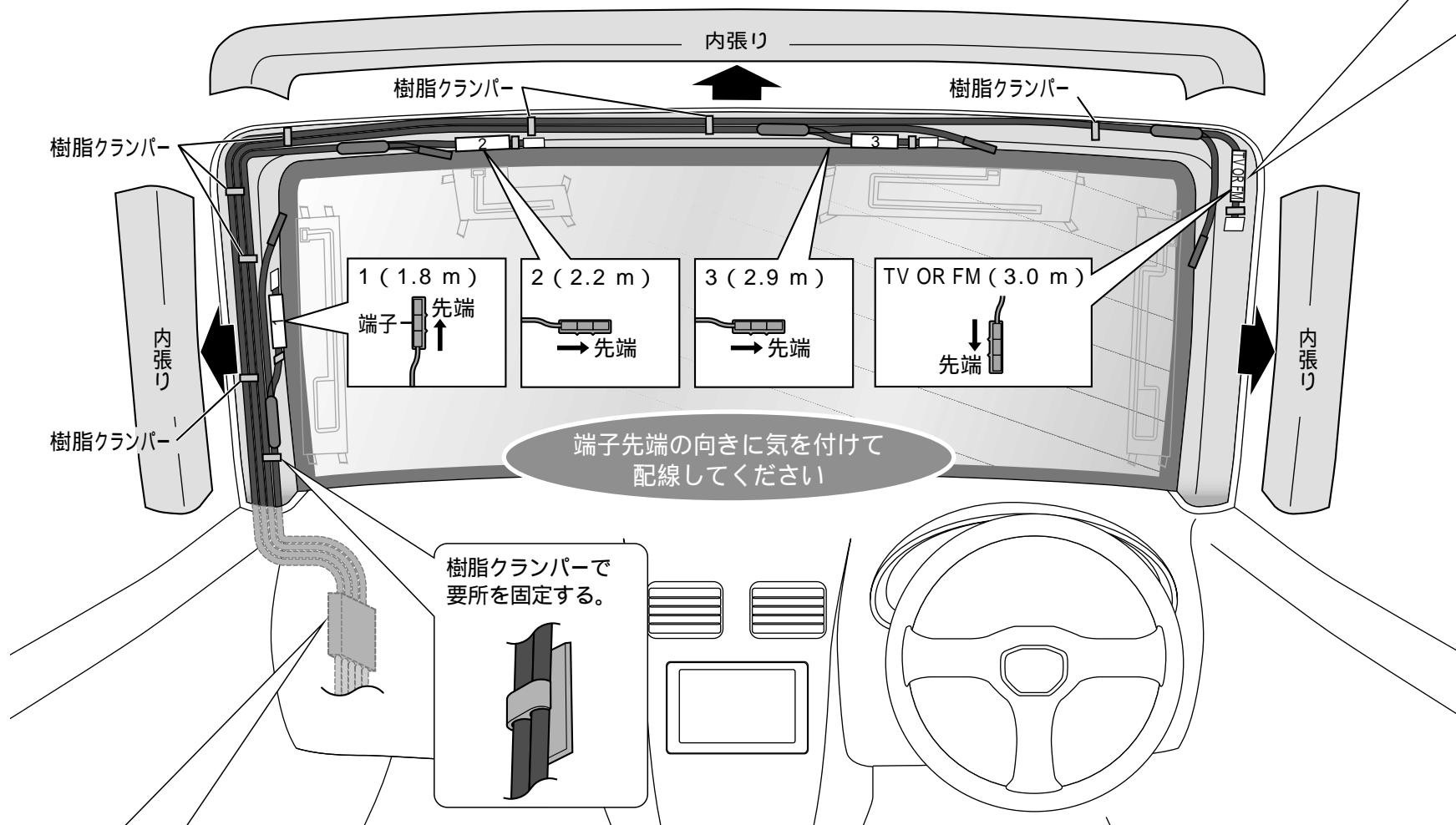


2 コードを配線する

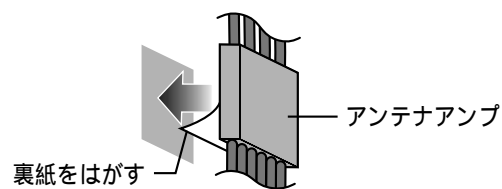
1 内張り（ピラー・ルーフライニングなど）を取りはずす。

2 貼付補助シートをめやすく、コードを引き回す。

実際に配線する前に、コード類を市販のセロハンテープなどで仮止めして、端子がアンテナの金属部に貼り付けられることを確認してください。
また、必要に応じてアンテナ（貼付補助シート）の位置も微調整してください。



4 アンテナアンプを、ダッシュボード裏などに貼り付ける。



左ハンドル車に取り付ける場合は、アンテナアンプを運転の妨げにならないように、十分に気をつけて配線してください。（特に、アクセル・ブレーキの周りなどには配線しないでください。）

3 車体の金属部にアース板を貼り付ける。

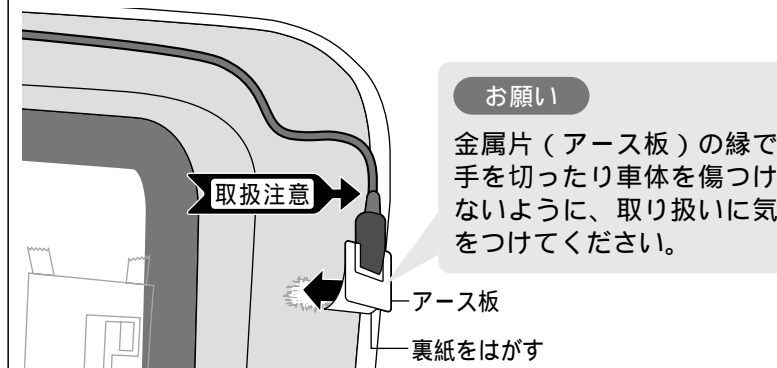
アンテナの性能を十分に発揮させるために、アース板は、4枚ともしっかりと貼り付けてください。

①アース板を貼り付けるところを削って、金属地を露出させる。

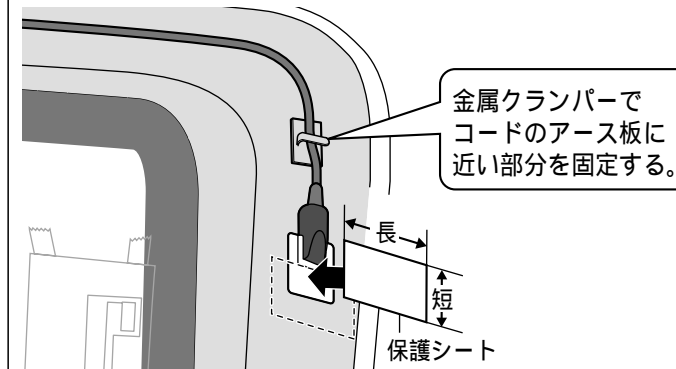


保護シートで完全に覆うことができる範囲内で、できるだけ大きな面積の金属地を露出させてください。（横 20 mm × 縦 10 mm 以内）
付属の紙ヤスリで磨いて、塗膜の削りかすをきれいに拭き取ってください。
アース板がはがれる原因になります。

②アース板の裏紙をはがして、露出させた金属地の上に貼り付ける。



③保護シートを、アース板の上に貼り付ける。



アンテナを取りはずした場合は、露出した金属地に防サビ剤を塗ってください。